

職場適応援助者養成研修の現行カリキュラム

- ・ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
ジョブコーチ養成研修カリキュラム（訪問型）
- ・ 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
ジョブコーチ養成研修カリキュラム（企業在籍型）
- ・ 大臣指定のジョブコーチ養成研修カリキュラム（訪問型）
- ・ 大臣指定のジョブコーチ養成研修カリキュラム（企業在籍型）

訪問型職場適応援助者養成研修カリキュラム

区分	科目	形態	内 容	時間 (分)
集 合 研 修	職業リハビリテーションの理念	講義	職業リハビリテーションの基本理念	60
	就労支援のプロセス	講義	就労支援のプロセスにおける職場適応援助者による支援の位置づけ	60
	訪問型職場適応援助者の役割	講義	訪問型職場適応援助者の職務及び職場適応援助者による援助の事業、職業リハビリテーション計画及び訪問型職場適応援助者による支援計画について	120
	障害特性と職業的課題Ⅰ(知的障害・発達障害)	講義	知的障害及び発達障害の障害特性と職業的課題、支援方法	110
	障害特性と職業的課題Ⅱ(精神障害)	講義	精神障害の障害特性と職業的課題、支援方法	110
	障害特性と職業的課題Ⅲ(身体障害・高次脳機能障害・難病)	講義	身体障害、高次脳機能障害及び難病の障害特性と職業的課題、支援方法	140
	労働関係法規の概要	講義	労働基準法、最低賃金法等労働関係法規の概要	60
	課題分析の理論	講義	課題分析の概念、内容、実施方法及び活用等	120
	作業指導の実際Ⅰ	講義 演習	課題分析技法を活用した作業指導及び作業環境へのアプローチの方法	180
	事業主支援の基礎理解	講義	企業の視点や企業文化、訪問型職場適応援助者による事業主支援の心構え、効果的支援方法	90
	職場における雇用管理の実際	講義	企業側から見た障害者雇用管理の現状と就労支援における企業ニーズ	120
	企業へのアプローチと事業所における調整方法	講義 演習	企業へのアプローチ方法、事業所への働きかけと調整方法	120
	ケースマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	講義	ケースマネジメントの理念に基づく、職業生活を支える生活支援の考え方と方法、家族への支援の考え方と方法。職業生活支援における企業の役割と関係機関の連携	60
	支援記録の作成Ⅰ	講義	支援記録作成に関する基礎的事項	60
	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅰ	事例研究	具体的支援事例の検討を通じての、訪問型職場適応援助者の職務及び支援技法	160
実 技 研 修	地域における関係機関の役割とネットワークの活用	講義 意見交換	関係機関の役割の理解と連携のあり方、関係機関への情報提供の仕方	60
	アセスメントの視点と支援計画に関する理解	講義 演習	アセスメントの方法、支援計画及びフォローアップ計画の意味、内容、支援計画に基づく支援のあり方	180
	作業指導の実際Ⅱ	講義 演習	課題分析技法を活用した作業指導及び作業環境へのアプローチの実践的方法	120
	事業所における職場適応援助者の支援の実際	実習	事業所における支援の際の心構え、留意事項及び支援方法についての具体的理解(事業所実習を通じての、事業所のアセスメント、課題分析等の演習、支援の実際)	420
	支援記録の作成Ⅱ	演習	支援記録の作成方法と活用方法	60
	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅱ	事例研究	具体的支援事例の検討を通じての、支援上の課題等の的確な整理方法、具体的支援方法・技法	120
合 計 時 間 (分)				2,530
うち、集合研修実施分				1,570
うち、実技研修実施分				960

企業在籍型職場適応援助者養成研修カリキュラム

区分	科目	形態	内 容	時間 (分)
集 合 研 修	職業リハビリテーションの理念	講義	職業リハビリテーションの基本理念	60
	就労支援のプロセス	講義	就労支援のプロセスにおける職場適応援助者による支援の位置づけ	60
	企業在籍型職場適応援助者の役割	講義	企業在籍型職場適応援助者の職務及び職場適応援助者による援助の事業、職業リハビリテーション計画及び企業在籍型職場適応援助者による支援計画の活用	120
	障害特性と職業的課題Ⅰ(知的障害・発達障害)	講義	知的障害及び発達障害の障害特性と職業的課題、支援方法	110
	障害特性と職業的課題Ⅱ(精神障害)	講義	精神障害の障害特性と職業的課題、支援方法	110
	障害特性と職業的課題Ⅲ(身体障害・高次脳機能障害・難病)	講義	身体障害、高次脳機能障害及び難病の障害特性と職業的課題、支援方法	140
	労働関係法規の概要	講義	労働基準法、最低賃金等基本的な労働関係法規の概要	60
	課題分析の理論	講義	課題分析の概念、内容、実施方法及び活用等	120
	作業指導の実際Ⅰ	講義 演習	課題分析技法を活用した作業指導及び職場環境へのアプローチの方法	180
	職場における雇用管理の実際	講義	障害者の雇用管理の現状と課題、職域開拓と職務の再構成やナチュラルサポート形成の方法	120
	事業所内における調整	講義 演習	事業所内における管理者、社員への理解の促進。ケース会議等を通じて関係者と合意形成を図る方法	120
	障害者福祉と就労支援	講義	障害者総合支援法における就労支援の位置づけ、障害の概念、社会福祉の視点等	90
	ケースマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	講義	ケースマネジメントの理念に基づく、職業生活を支える生活支援の考え方と方法、家族への支援の考え方と方法。職業生活支援における企業の役割と関係機関の連携	60
	支援記録の作成Ⅰ	講義	支援記録作成に関する基礎的事項	60
	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅰ	事例研究	具体的支援事例の検討を通じての、企業在籍型職場適応援助者の職務及び支援技法	160
実 技 研 修	地域における関係機関の役割とネットワークの活用	講義 意見交換	関係機関の役割の理解と連携のあり方、関係機関への情報提供の仕方	60
	アセスメントの視点と支援計画に関する理解	講義 演習	アセスメントの方法、支援計画及びフォローアップ計画の意味、内容、支援計画に基づく支援のあり方	180
	作業指導の実際Ⅱ	講義 演習	課題分析技法を活用した作業指導及び職場環境へのアプローチの実践的方法	120
	事業所における職場適応援助者の支援の実際	実習	事業所内での指導等について(事業所実習を通じての、事業所のアセスメント、課題分析等の演習、支援の実際)	420
	支援記録の作成Ⅱ	演習	支援記録の作成方法及び活用方法	60
	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際Ⅱ	事例研究	具体的支援事例の検討を通じての、支援上の課題等の的確な整理方法、具体的支援方法・技法	120
合 計 時 間 (分)				2,530
うち、集合研修実施分				1,570
うち、実技研修実施分				960

訪問型職場適応援助者養成研修モデルカリキュラム

No	科目	共通／訪問型・ 企業在籍型	内容	形態	時間数
①	職業リハビリテーションの 理念	共通	・職業リハビリテーションの基本理念	講義	0.5～1
②	就労支援のプロセス	共通	・就労支援のプロセス	講義	1～2
③	訪問型職場適応援助者の 役割	共通、 訪問型	・職場適応援助者の制度と役割 ・職場適応援助者の支援の流れ ・守秘義務と情報の共有化	講義	1～2
			・訪問型職場適応援助者の役割 ・支援者の視点やアプローチの手法、支援のプロセス ・ケース会議の開催と留意事項	講義	1～2
④	障害特性と職業的課題	共通	・障害特性と職業的課題 ・障害特性に応じた支援方法、就業支援事例	講義	3～5
⑤	就労支援に関する制度	共通	・障害者雇用施策の概要 ・労働基準法、最低賃金等基本的な労働関係法規の概要	講義	1～3
⑥	職場における雇用管理	共通	・事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ・就労支援における企業のニーズ	講義	1～2
⑦	企業文化の理解	訪問型	・企業経営の基礎 ・企業の視点や企業文化の理解 (可能であれば、企業の見学を行う)	講義 (見学)	1～3
⑧	アセスメントの視点と支援 計画に関する理解	共通、 訪問型	・アセスメントの視点と方法	講義 演習	1～2
			・支援計画の意味、内容と活用方法 ・支援計画作成のためのアセスメント、プランニングの方法 ・フォローアップ計画の意味と活用方法	講義 演習	2～4
⑨	企業へのアプローチと事 業所における調整方法	訪問型	・企業へのアプローチ方法 ・事業所への働きかけと調整方法	講義 演習	2～4
⑩	事業所での支援方法の基 礎理解	共通	・具体的な支援の流れと方法 ・職場環境アセスメント ・職域開拓と職務の再構成 ・ナチュラルサポートの形成	講義 演習	3～6
⑪	職務分析と作業指導	共通	・職務分析、工程分析 ・わかりやすい伝え方 ・ジグや道具の活用と作業改善の提案	講義 演習	4～6
⑫	支援記録の作成	共通	・支援記録の作成方法と活用方法	講義 (演習)	1～3
⑬	地域における関係機関の 役割とネットワークの活用	共通	・雇用、福祉、教育等地域の関係機関の役割 ・関係機関の役割分担と連携のあり方 ・関係機関への情報提供の仕方	講義	1～2
⑭	ケアマネジメントと職場定 着のための生活・家族支 援	共通	・ケアマネジメントの理念 ・職業生活を支える支援の考え方と方法 ・家族への支援の考え方と方法 ・職業生活支援における企業の役割と関係機関との連携	講義	1～3
⑮	ケースから学ぶジョブコー チ支援の実際	共通	・ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支 援の方法を学ぶ	事例研 究	2～4
⑯	事業所における職場適応 援助者の支援の実際	共通	(必要に応じて、1時間程度の事前指導を行う) ・事業所実習 ・事業所における雇用管理の理解 ・事業所のアセスメント演習 ・仕事の伝え方、職務分析等の実習	実習	7～8

【大臣指定のジョブコーチ養成研修カリキュラム(企業在籍型)】

企業在籍型職場適応援助者養成研修モデルカリキュラム

No	科目	共通/訪問型・企業在籍型	内容	形態	時間数
①	職業リハビリテーションの理念	共通	・職業リハビリテーションの基本理念	講義	0.5～1
②	就労支援のプロセス	共通	・就労支援のプロセス	講義	1～2
③	企業在籍型職場適応援助者の役割	共通、企業在籍型	・職場適応援助者の制度と役割 ・職場適応援助者の支援の流れ ・守秘義務と情報の共有化	講義	1～2
			・企業在籍型職場適応援助者の役割 ・支援者の視点やアプローチの手法、支援のプロセス	講義	1～2
④	障害特性と職業的課題	共通	・障害特性と職業的課題 ・障害特性に応じた支援方法、就業支援事例	講義	3～5
⑤	就労支援に関する制度	共通	・障害者雇用施策の概要 ・労働基準法、最低賃金等基本的な労働関係法規の概要	講義	1～3
⑥	職場における雇用管理	共通	・事業所における障害者の雇用管理の現状と課題 ・就労支援における企業のニーズ	講義	1～2
⑦	社会福祉の現状	企業在籍型	・障害者自立支援法における就労の位置付け ・障害の概念、社会福祉の視点等 (可能であれば、就労移行支援事業所等の見学を行う)	講義 (見学)	1～3
⑧	アセスメントの視点と支援計画に関する理解	共通、企業在籍型	・アセスメントの視点と方法	講義 演習	1～2
			・支援計画の意味、内容と活用方法 ・支援計画作成のためのアセスメント、プランニングの方法	講義 演習	2～4
⑨	事業所内における調整	企業在籍型	・事業所内における管理者、社員への理解の促進 ・ケース会議等を通じて関係者と合意形成を図る方法の理解	講義 演習	2～4
⑩	事業所での支援方法の基礎理解	共通	・具体的な支援の流れと方法 ・職場環境アセスメント ・職域開拓と職務の再構成 ・ナチュラルサポートの形成	講義 演習	3～6
⑪	職務分析と作業指導	共通	・職務分析、工程分析 ・わかりやすい伝え方 ・ジグや道具の活用と作業改善の提案	講義 演習	4～6
⑫	支援記録の作成	共通	・支援記録の作成方法と活用方法	講義 (演習)	1～3
⑬	地域における関係機関の役割とネットワークの活用	共通	・雇用、福祉、教育等地域の関係機関の役割 ・関係機関の役割分担と連携のあり方 ・関係機関への情報提供の仕方	講義	1～2
⑭	ケアマネジメントと職場定着のための生活・家族支援	共通	・ケアマネジメントの理念 ・職業生活を支える支援の考え方と方法 ・家族への支援の考え方と方法 ・職業生活支援における企業の役割と関係機関との連携	講義	1～3
⑮	ケースから学ぶジョブコーチ支援の実際	共通	・ジョブコーチ支援の一連のプロセスを含むモデル事例を通じ、支援の方法を学ぶ	事例研究	2～4
⑯	事業所における職場適応援助者の支援の実際	共通	(必要に応じて、1時間程度の事前指導を行う) ・事業所実習 ・事業所における雇用管理の理解 ・事業所のアセスメント演習 ・仕事の伝え方、職務分析等の実習	実習	7～8